

島田髷

日本髪^{しんぱん}の代表的な髪型である島田髷^{しまだまげ}は、その名にあるように、島田宿と深い関わりを持ってきました。現在でも、花嫁^{むすめ}が結う「文金高島田」など、広く伝わっています。

■島田髷の由来

「文金高島田（写真上）」に代表され、その名が知られる「島田髷」。その髪型の名の由来には諸説があります。

○鎌倉時代、島田出身の遊女「虎御前」が考案したとされる説。

○寛永年間（江戸時代）に歌舞伎役者「島田万吉」が結い始めたという説。

○島田髷の髪型が植輪土器にも見られることから「締めた」の言葉が転じて「島田」になったという説。

○江戸時代、島田宿の遊女が結い始めたという説。いずれも定説ではありませんが、「島田髷」は江戸時代の結髪の流行として、若い婦人の間で結われました。

そして「文金高島田」は、文化・文政時代に、「投げ島田」「しめつけ島田」「くずし島田」とともに流行った結い型です。

文金とは、インフレであった元文元年に、当時の貨幣「文字金」を語源とし、物価の高いことと、「高島田」の髷の位置が高い様を掛けたものとも伝えられています。

「髪結いの櫛」

鈴木すゞさんが、30年間以上使い込み、髷付け油のしみこんだ櫛。島田髷の髪結いには大小10種類以上の櫛が使われます。写真左からハマグリ、筋立、髷出し、中櫛。





静岡県美容業生活衛生同業組合
鈴木すゝさん (写真上・表紙)

「昭和 34 年から、日本髪の髪結いの仕事をしています。主に、花嫁さんの日本髪を結うために結髪の技術を学び、身に付けました。島田髷と『島田髷まつり』があったからこそ、それを守らなければとの思いで、今まで髪結いの技を守ってきました。昭和 50 年代ころまでは、島田にも日本髪の髪結いさんが 4・5 人いましたが、今では県内でも少なくなってしまったのが残念です。これからは一人でも多くの若い美容師さんに、島田髷の髪結いを身につけ、技術を伝えていって欲しいです」と鈴木さん。島田髷結いの第一人者として、その技術の伝承に余念がありません。

「お染島田」
発祥は、芝居の「野崎参り」
のお染めの髪型。下町の
豪商の娘が結った。



「元禄島田」
髷の幅が狭く、髷の尻が
上がっている。元禄時代
の特徴が出ている島田髷。

「乙女島田」
下町風の高島田で、特徴
は前髪と鬢の間に両天(両
側にかざりがある簪)を
さすこと。



■島田髷と虎御前

島田では「虎御前は島田の生まれで、島田髷を始めて結った人」と伝えられています。虎御前とは、鎌倉時代の大磯の遊女で、あだ討ちで有名な曾我兄弟の兄方「曾我十郎祐成」の恋人であったとされています。

慶応 4 年に出版された「島田駅誌」(菅塩殉斎記)によると、「野田の鵜田寺には、境内に老杉が一株あり、その下にある三つの石は、虎御前の実父・越場郡司の墓で、元島田の農民佐平がこれを祀っている。従って、虎御前は、この家に生まれ、後に大磯の遊女になったものでしょう」と記されています。

このことから、虎御前は島田の生まれであり、島田髷の考案者であるとすれば、島田髷と島田市の関わりは、より強いものと考えられます。

毎年、9 月に行われる「髷まつり」の日には、駅前などで奉納踊り・髷道中、鵜田寺で「島田髷供養感謝祭」が行われ、島田髷を結った髷娘が、境内での奉納踊りの後、虎御前の墓前を参拝し、島田髷と虎御前を供養・感謝します。

「ビラビラ簪」
江戸彫金鋳師上村康重さん(横須賀市)が手作りし、島田髷まつりに使って欲しいと、島田髷まつり保存会に寄贈した簪(計 100 本)。金・銀・珊瑚などを使用し、繊細な細工と、気品あるデザインは、島田髷にとっても良く似合う。



平成23年9月18日(日) 正午開催

島田髷まつり



毎年、9月第3日曜日に開催される、島田髷まつり。さまざまな島田髷を結った髷娘が浴衣姿で道中する様は、大変艶やか。島田髷まつり保存会は、この祭りを通して、島田の歴史の深さを知ってもらいたい、和 문화の良さに触れてもらいたいと願い、島田髷の伝承に努めています。



(写真上) 大井神社では、参拝のあと、多くのカメラマンに囲まれる中、奉納踊りを披露します。(写真右) 踊りも終盤、小さな髷娘にも笑顔が。

島田髷まつりの歴史

昭和8年9月17日、当時の島田町結髪組合が主催し、鶴田寺を会場に、島田髷を最初に結ったと伝えられる虎御前への感謝祭髷供養が盛大に行われました。

その後、昭和11年まで4回続いたこの祭りは、日中戦争の勃発とともに途絶えてしまいました。戦後、昭和12年から再開された髷供養祭も、3年で終了しました。

そして、昭和40年9月14日、三度、美容組合島田支部が「島田髷まつり」を復活させました。

現在では、静岡県美容業生活衛生同業組合島田支部および島田髷まつり保存会が主催し、毎年県内外から多くの観光客を集めています。

島田髷まつり

(毎年9月、第3日曜日開催) とき・ところ

平成23年9月18日(日)

正午…本通り七丁目出発

午後0時15分…おび通り

午後0時45分…島田駅北口

午後1時30分…大井神社

午後2時55分…市民病院前



島田髷まつり保存会会長

鈴木房雄さん (写真右)

「島田は、和の風情が似合います。島田髷まつりを通じ、島田の美容業のブランド化も願っています」

髷まつり当日早朝の美容院 (写真左) 美容師らは「島田髷は島田の誇り。永く技術を継承したい」との意気込みで結い上げます。





(写真右・左下) 和風の「おび通り」には、日本髪が良く似合います。(写真左上) 大井神社の境内に勢揃いした髷娘たち。

午後3時25分・鶴田寺
 内容／島田髷道中・奉納踊り
 (約70人の、島田髷の艶やかな髷娘による)
 主催／静岡県美容業生活衛生同業組合、島田髷まつり保存会
 問い合わせ／島田市観光協会
 ☎46-20044

■博物館収蔵品展
 「島田髷と髪飾り」

とき／9月10日(土)～10月23日(日)
 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 ところ／島田市博物館

展示／島田髷かつら「高島田」「元禄島田」「お染島田」ほか、髪飾り(櫛、簪、笄)、結髪道具など約200点
 観覧料／一般300円(団体240円) 小・中学生無料
 ■博物館講座
 「島田髷を結ぶ」 実演とお話

とき／9月11日(日)
 午後1時30分～3時
 ところ／島田市博物館整理工作室
 内容／島田髷結い実演、講話
 講師／島田髷まつり保存会 鈴木すゞさん・鈴木房雄さん
 参加料／博物館観覧料が必要。事前申し込み不要
 問い合わせ／島田市博物館
 ☎377-10000

「島田髷継承へ 結い上げ勉強会」

島田髷まつり保存会は、1970年代から毎年2回、日本髪結い上げ勉強会を開催し、今年で210・211回目を数えます。市内の若手美容師をはじめ、市外からも多くの参加があり、技術の伝承に努めています。島田髷まつりを前にした今年の勉強会へは、約60人が参加します。



参考・資料提供
 島田髷まつり保存会
 島田市博物館第10回企画展
 「日本髪と島田髷展」